

**CASBEE-建築(新築)2016年版  
(仮称)福岡市長浜地区商業施設 新築工事**

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版

欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

スコアシート 実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄				
配慮項目		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
<b>Q 建築物の環境品質</b>						
<b>Q1 室内環境</b>						
<b>1 音環境</b>						
<b>1.1 室内騒音レベル</b>						
<b>1.2 遮音</b>						
1 開口部遮音性能		3.0	0.15			3.0
2 界壁遮音性能		3.0	0.40			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	0.40			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	1.00			
<b>1.3 吸音</b>		3.0	0.20			
<b>2 溫熱環境</b>						
<b>2.1 室温制御</b>						
1 室温		2.6	0.35			2.6
2 外皮性能		3.0	0.50			
3 ゾーン別制御性		3.0	0.45			
<b>2.2 湿度制御</b>						
<b>2.3 空調方式</b>						
<b>3 光・視環境</b>						
<b>3.1 昼光利用</b>						
1 昼光率		3.0	0.25			3.0
2 方位別開口		-	0.51			
3 昼光利用設備		3.0	-			
<b>3.2 グレア対策</b>						
1 昼光制御		-	1.00			
<b>3.3 照度</b>		-	-			
<b>3.4 照明制御</b>		-	-			
<b>4 空気質環境</b>						
<b>4.1 発生源対策</b>						
1 化学汚染物質		3.5	0.25			3.5
<b>4.2 換気</b>						
1 換気量		4.0	0.50			
2 自然換気性能		4.0	1.00			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.30			
<b>4.3 運用管理</b>						
1 CO <sub>2</sub> の監視		3.0	0.50			
2 喫煙の制御		3.0	0.20			
<b>Q2 サービス性能</b>						
<b>1 機能性</b>						
<b>1.1 機能性・使いやすさ</b>						
1 広さ・収納性		2.8	0.40			2.8
2 高度情報通信設備対応		3.0	0.40			
3 パリアフリー計画		-	-			
<b>1.2 心理性・快適性</b>						
1 広さ感・景観		3.0	1.00			
2 リフレッシュスペース		2.3	0.30			
3 内装計画		3.0	0.33			
<b>1.3 維持管理</b>						
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.33			
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50			
<b>2 耐用性・信頼性</b>						
<b>2.1 耐震・免震・制震・制振</b>						
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.1	0.30			3.1
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.50			
<b>2.2 部品・部材の耐用年数</b>						
1 軀体材料の耐用年数		3.0	0.80			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.4	0.30			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.20			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.10			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.10			
5.0		5.0	0.20			
3.0		3.0	0.20			
<b>2.4 信頼性</b>						
1 空調・換気設備		3.0	0.20			
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20			
3 電気設備		3.0	0.20			
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20			
5 通信・情報設備		3.0	0.20			
<b>3 対応性・更新性</b>						
<b>3.1 空間のゆとり</b>						
1 階高のゆとり		3.6	0.30			3.6
2 空間の形状・自由さ		5.0	0.30			
		5.0	0.60			
		5.0	0.40			

3.2 荷重のゆとり	3.0	0.30	-	-	
	3.2	0.40	-	-	
	3.0	0.20	-	-	
	3.0	0.20	-	-	
	5.0	0.10	-	-	
	3.0	0.10	-	-	
	3.0	0.20	-	-	
3.3 設備の更新性	3.0	0.20	-	-	
	1 空調配管の更新性	3.0	0.20	-	
	2 給排水管の更新性	3.0	0.20	-	
	3 電気配線の更新性	5.0	0.10	-	
	4 通信配線の更新性	3.0	0.10	-	
	5 設備機器の更新性	3.0	0.20	-	
Q3 室外環境(敷地内)	6 パックアップスペースの確保	3.0	0.20	-	
	1 生物環境の保全と創出	-	0.34	-	2.1
	2 まちなみ・景観への配慮	1.0	0.30	-	1.0
	3 地域性・アメニティへの配慮	3.0	0.40	-	3.0
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上	2.0	0.30	-	2.0
	3.2 敷地内温熱環境の向上	2.0	0.50	-	
LR 建築物の環境負荷低減性					
LR1 エネルギー					
1 建物外皮の熱負荷抑制	1.0	0.12	-	-	1.0
	3.0	0.11	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用	2.0	0.30	-	-	
	2.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化	4.1	0.55	-	-	4.1
	3.0	0.22	-	-	3.0
4 効率的運用	3.0	1.00	-	-	
	3.0	0.50	-	-	
集合住宅以外の評価	3.0	0.50	-	-	
	3.0	-	-	-	
4.1 モニタリング	3.0	-	-	-	
	3.0	-	-	-	
4.2 運用管理体制	3.0	-	-	-	
	3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル					
1 水資源保護					
1.1 節水	3.5	0.20	-	-	3.5
	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用	3.3	0.60	-	-	
	3.0	0.70	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無	4.0	0.30	-	-	
	3.0	-	-	-	
2 雜排水等利用システム導入の有無	3.1	0.60	-	-	3.1
	3.1	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減					
2.1 材料使用量の削減	3.0	0.10	-	-	
	3.0	0.20	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.20	-	-	
	3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.20	-	-	
	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	2.0	0.10	-	-	
	4.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材	3.0	0.10	-	-	
	4.0	0.20	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	3.7	0.20	-	-	3.7
	3.0	-	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避					
3.1 有害物質を含まない材料の使用	3.0	0.30	-	-	
	4.0	0.70	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避	-	-	-	-	
	5.0	0.50	-	-	
1 消火剤	5.0	0.50	-	-	
	3.0	0.50	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)	5.0	0.50	-	-	
	3.0	0.50	-	-	
3 冷媒	3.0	0.50	-	-	
	3.0	-	-	-	
LR3 敷地外環境					
1 地球温暖化への配慮					
1 地球温暖化への配慮	3.9	0.33	-	-	3.9
	3.0	0.33	-	-	3.0
2 地域環境への配慮	5.0	0.25	-	-	
	2.0	0.50	-	-	
	3.0	0.25	-	-	
	3.0	0.25	-	-	
	3.0	0.25	-	-	
	3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮					
3.1 騒音・振動・悪臭の防止	3.1	0.33	-	-	3.1
	3.0	0.40	-	-	
	3.0	1.00	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制	-	-	-	-	
	3.0	0.40	-	-	
	3.0	0.70	-	-	
3.3 光害の抑制	3.0	0.30	-	-	
	3.0	0.20	-	-	
	4.0	0.70	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	3.7	0.20	-	-	
	3.0	0.30	-	-	
2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	4.0	0.70	-	-	
	3.0	0.30	-	-	